

勢和小学校だより

発行日：令和6年10月28日 第14号



約束事を守ったり、それぞれの責任を果たしたりできた修学旅行

10月10日から11日に6年生が修学旅行に行ってきました。修学旅行や社会見学の意義について、第11号の学校だよりで紹介したように、修学旅行にも目的が設定されています。

今回の修学旅行の目的は以下のとおりです。

- 京都府の歴史的・文化的遺産に直接触れ、見学を通して得たことを今後の学習に生かすことができる。
- 宿泊学習を通して仲間づくりを深めるとともに、自分たちで係分担を決め、まとまりのある集団活動とするための行動や態度、マナーを実践する。
- 就寝・起床時刻を守ったり、施設を正しく利用したりすることを実践する。



今回の旅行では全ての目的が完璧だったわけではなく、失敗することがありましたが、その後の子どもたちが前向きで、失敗後は更によりよくしようと仲間一丸となって取り組んでいる姿が印象的でした。



例えば、旅館のスタッフから言われていた、食事を終えたら同じ食器をまとめておくことを失念し、部屋に帰ってしまったため担任が指導したところ、自分たちの班の食器をまとめるだけでなく、「スタッフの片付けが早く終わられるように、他の班の食器も一カ所に集めておこう。」と、クラス全部の食器をまとめたり、ゴミを集めたりしていました。

行動班での自由行動では、集合時刻10分前には集まったり、見学先にクラスごとに並んで向かう時には、「〇班集体まりました。」と班長が担任に伝えたり、班としてまとまりながら行動していました。

バス車内で行われたレクリエーションは、事前準備にかなり時間をかけ計画していたようで、レクリエーション中には担当の子どもたちがそれぞれの役割を果たしながら進行していました。更に、レクリエーションをみんなで楽しもうとするクラス全体の雰囲気があり、楽しく明るい雰囲気ができていました。



これら6年生の勇姿を下級生にも伝えたく、先日開催した後期の始業式冒頭に、修学旅行の様子を写真で紹介しました。下級生が自分たちの旅行の時に生かしてくれることと思っています。

人権教育の指導力向上に向けて

19日(土)、20日(日)には多気郡、松阪市で三重県人権同和教育研究大会が開かれ、本校職員も参加しました。

この大会は、三重県内の園・学校における人権教育の取り組みを交流し、今後の各園、各校での取り組みに生かすことを目的としています。

大会テーマは「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する『教育』を確立しよう。」です。

時代は令和になりましたが、部落差別をはじめ、女性差別、障害者差別、外国人差別などあらゆる差別の解消にはいたっていません。最近インターネット上での差別情報があふれ、誰でも閲覧できる状況です。それらの情報には誤ったものも含まれており、それらが事実として捉えられ誤解や偏見に結びついてしまっています。

本校では、子どもたちの人権感覚を磨き人権意識を高めるため、道徳教育を核とした人権教育を日常的に進めています。また、教職員の指導力向上のために研修を実施したり、今回のような大会に参加したりして、認識をアップデートし、授業力のブラッシュアップを図っています。

SEC委員会は参加者に向けて発表

～発表も、発表後の行動も素敵～

今回の大会では本校のSEC委員会がこれまでの取り組みを参加者に向けて発表しました。以下にその概要を列記します。

- 人が嫌だと感じる言動は全ていじめだということ
を、昨年度みんなに伝えたことで、みんなの意識が変わった。
- 誰もが相手のことを考えられる、楽しくて安心できる学校にしていきたい。

多くの参加者を前に堂々と発表できたSEC委員のみんなには、これからも誰もが安心できる学校づくりに向けて活躍を期待しています。

※発表したSEC委員会メンバー

6年 原 大晴、 6年 古川 麟太郎

6年 奥田 創一、 6年 高橋 幸太郎

発表後には、メンバーが座っていた椅子を他のメンバーがさっと片付ける姿もあり、支え合うことをしっかり実行していることにも感心しました。

表彰

学年	名前	応募内容	内容
3年	竹川 桃叶	受動喫煙防止ポスターコンクール	優秀賞

